

007 / 慰めの報酬 (2008)

QUANTUM OF SOLACE

メディア 映画

ジャンル アクション サスペンス

製作国 イギリス/アメリカ

色彩 Color

時間 106分

初公開日 2009/01/24

公開情報 ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

映倫 G

【解説】

前作「カジノ・ロワイヤル」に引き続きダニエル・クレイグがジェームズ・ボンド役に扮した人気サスペンス・アクションのシリーズ第22作。本作は「カジノ・ロワイヤル」エンディングの1時間後から始まるというシリーズ中異例の続編。初めて運命を感じた女性を失い復讐心に駆られたボンドが、諜報員である自らの使命との間で揺れながら闇の組織へ立ち向かう姿をリアリスティックに描く。監督はこれが初のアクション作品演出となる「チョコレート」「ネバーランド」のマーク・フォスター。

何者かの陰謀によって愛するヴェスパーを亡くし、復讐を誓ったボンドは、彼女を操っていたミスター・ホワイトを捕らえ、真相を究明すべく尋問する。そして、彼の背後には世界中の有力者や諜報機関をも取り込む巨大な組織が存在していることを知るのだった。その調査のため、まずハイチに向かったボンドは、そこでカミーユという謎めいた女性と出会う。さらに彼女を通じ、組織の幹部ドミニク・グリーンを突き止めるボンド。グリーンは、環境保護のため土地を買収する慈善団体“グリーン・プラネット”のCEO。だがその裏では、ボリビアの土地に眠る貴重な天然資源の独占を目論み、それを機に世界支配を企んでいた。上司Mから、グリーンは陰謀を阻止する任務を私情を挟まず遂行せよ、と念を押されるボンド。ところが、カミーユも実はグリーンと共謀するボリビアの将校に愛する家族を殺され、復讐の機会を窺っていると知ったボンドは、彼女と共にグリーン打倒へ奔走していく。

【クレジット】

監督	マーク・フォスター	Marc Forster
製作	マイケル・G・ウィルソン バーバラ・ブロッコリ	Michael G. Wilson Barbara Broccoli
製作総指揮	カラム・マクドゥガル アンソニー・ウェイ	Callum McDougall Anthony Waye
原作	イアン・フレミング	Ian Fleming
脚本	ニール・パーヴィス ロバート・ウェイド ポール・ハギス	Neal Purvis Robert Wade Paul Haggis
撮影	ロベルト・シェイファー	Roberto Schaefer
プロダクション デザイン	デニス・ガスナー	Dennis Gassner
衣装デザイン	ルイーズ・フログリー	Louise Frogley
編集	マット・チェシー リチャード・ピアソン	Matt Chesse Richard Pearson

音楽	デヴィッド・アーノルド	David Arnold	
テーマ曲	モンティ・ノーマン	Monty Norman	(ジェームズ・ボンドのテーマ)
主題歌	アリシア・キーズ ジャック・ホワイト	Alicia Keys Jack White	
出演	ダニエル・クレイグ	Daniel Craig	ジェームズ・ボンド
	オルガ・キュリレンコ	Olga Kurylenko	カミーユ
	マチュー・アマルリック	Mathieu Amalric	ドミニク・グリーン
	ジュディ・デンチ	Judi Dench	M
	ジェフリー・ライト	Jeffrey Wright	フィリックス・ライター
	ジェマ・アータートン	Gemma Arterton	フィールズ
	イエスパー・クリステンセン	Jesper Christensen	ミスター・ホワイト
	デヴィッド・ハーバー	David Harbour	ビーム
	アナトール・トーブマン	Anatole Taubman	エルヴィス
	ロリー・キニア	Rory Kinnear	タナー
	ジャンカルロ・ジャンニーニ	Giancarlo Giannini	マティス
	ホアキン・コシオ	Joaquín Cosío	メドラーノ将軍
	グレン・フォスター	Glenn Foster	ミッチェル
	フェルナンド・ギーエン・クエルボ	Fernando Guillén Cuervo	カルロス大佐
	スタナ・カティック	Stana Katic	コリーヌ
	ニール・ジャクソン	Neil Jackson	
	サイモン・カシアニデス	Simon Kassianides	